

行基 (ぎょうき)



写真出典：平成 28 年度版『わたしたちのまち堺』P190 堺市教育委員会

行基(ぎょうき)は蜂田郷(はちたごう)[堺市西区]で生まれました。奈良時代[710 年～794 年]の人で、「広く民衆を救う」という仏教本来の姿を取り戻すため、一生を民間布教(みんかんふきょう)と社会事業(しゃかいじぎょう)にささげました。

民間に仏教を広めたため、はじめは朝廷(ちょうてい)から弾圧(だんあつ)されましたが、のちの東大寺(とうだいじ)の大仏づくりに加わり、聖武天皇(しょうむてんのう)から「大僧正(だいそうじょう)」の位に任ぜられました。

Q. いつからお坊さんになったの？

A. 15歳でお坊さんになったそうだよ。

Q. どこで生まれたの？

A. 行基が生まれた家のお寺にした「家原寺(えばらじ)」が堺市西区にあるよ。

Q. 大仏以外にも何かつくったの？

A. 近畿地方(きんきちほう)を中心に49の寺をつくったといわれているよ。寺以外にも、ため池や橋、「布施屋(ふせや)」「現在の病院のこと」などをつくったそうだよ。

出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P44 堺市教育委員会